

日本組織培養学会

会員通信
第 17 号

発行責任者

佐藤温重・梅田 誠
横浜市南区浦舟町
横浜市大・医学部

昭和47年8月15日発行

045(231)2081

★ 第33回研究会における総会の経過報告

1972年6月15, 16日・田中達也氏(愛知がんセンター)のお世話で第33回研究会が愛知県産業貿易会館において多数の参会者を得て盛大に開催された。

総会では以下の如き事項が報告され、又承認された。

1. 新入会員(別項)
2. 新賛助会員(別項)
3. 昭和46年度決算報告(山田正篤氏)(別項)
4. Bibliography報告(黒田行昭氏・奥村秀夫氏)

45年度Bibliographyは国内会員には発送済み。

国外会員には従来通り主だった会員の方々の賛同を得て339ヶ所に発送した。但し今回は「来年度以後も更に継続発送して欲しいかどうか」と記載したrequest cardを同封した。

今年度よりタイプで一定の枠内に打つていたように、そのままオフセットにする方式に変更した。目下key wordsについて検討中で、近々中に各会員に用紙をくばる段階である。

5. 会員通信(梅田 誠)

記事が集らない。会員の皆様で相互に少しでも知らせたい事があれば、ふるつて御投稿願いたい。

6. 次回、次々回研究会

第34回研究会(47年度秋)

世話人： 放医研・寺島東洋三，千葉大細菌・安村美博，千葉血清・橋爪 壮の各氏
シンポジウム：「組織培養の現状と展望」

(Frontiers in Tissue Culture)

第35回研究会(48年度春)

世話人： 北大 牧野佐二郎氏の予定

★ 第33回日本組織培養学会を顧みて

田中達也(愛知県がんセンター研究所)

去る6月15, 16日名古屋で開催された研究会は、世話人の不手際で極めて不備な状態

にあり、会員の皆様にも種々のご迷惑をお掛けした事に対し深くお詫び申し上げます。しかし、会そのものは非常に盛会で活潑な討論がなされ、予期以上の成果を上げることが出来ましたのは、参会された皆様の理解とご援助によるものと深く感謝いたしております。

昨秋、幹事長奥村秀夫氏より、名古屋開催の依頼がありました時、私が最初に考えました点は、組織培養学会は志を同じくする会員相互の発表討論の場でありますので、会員個々の発表が主体でなければならないという事であります。したがって、運営に当っては会員の一般演題を主軸とし、従来なされて来たシンポジウムは、特定課題としてみようと考えた次第です。この構想は、勿論応募演題の内容や数に左右されますので、申込締切まで苦勞の種でありましたが、幸い予期以上の演題が集り、その責を果すことが出来ました。

特定演題として取上げた細胞膜の問題は、シンポジウム課題として理事会より示されたものであり、企画の当初は、シンポジウムの形をとるべく考えて見ました。しかし、この問題を真剣にとり上げると、問題の性質上、生化学、あるいは分子生物学の領域に深く入り込んで、組織培養学会の主題として少なからず問題が出て来る様に感ぜられました。以上の様な次第で、応募演題の中から膜関係のものを拾い特定演題として組み上げたのであります。この点に関しては、色々のご批判もある事と思っておりますので、今後会の世話に当られる方にお考え戴きたいと思っております。

最後にもう一つ申し添えたい点は、会の運営は出来る限り質素にやりたいと思ひ、今回は業者からの寄附はとらず運営の諸経費は、会場整理費ですべて処理いたしました。

組織培養は、いまやあらゆる分野の研究遂行上欠くことの出来ない問題になつております。その意味で、日本の組織培養の基礎と研究者相互の親睦に努力された勝田甫先生に心から感謝すると共に、本学会の今後の発展を祈つて居ります。

大 昭和47年6月新入会員

研究機関	同住所・電話	氏名	専門分野
労働省労働衛生研究所 職業病部	211: 川崎市木月住吉町 2,051 (044)41-2185	○ 奥 貴美子	労働衛生、生化学
" "	" "	大 沢 基 保	生化学

研究機関	同住所。電話	氏名	専門分野
三菱化成生命科学研究所 発生生物学部 " 細胞生物部	194：東京都町田市 南大谷11 (0427) 26-1211	○ 加藤淑裕 三宅端	発生生物学 遺伝学 分子生物学
日水製薬(株)開発研究部	340：埼玉県草加市 稻荷町1,805 (0489) 24-1631	加藤良一	細胞生物学
慶応義塾大学医学部 病理学教室 " 脳神経外科	160：東京都新宿区 信濃町35 (03) 553-1211 "	田島知行 神野哲夫	病理学 脳神経外科学
国立予防衛生研究所 ウイルス、リケッチア部 " "	141：東京都品川区 上大崎2-10 (03) 444-2181 "	桜井淑子 山田堅一郎	細胞生物学 ウイルス学 細胞生物学
日本歯科大学 薬理学教室	102：東京都千代田区 富士見1-9-20 (03) 261-8311 (内線288)	筒井健機	薬理学
日本ポリオ研究所 技術部	189：東京都東村山市 久米川町5-1725 (0423) 93-3191	○ 伊東平八	医学
東京大学医科学研究所 癌ウイルス研究部	108：東京都港区白金台 (03) 443-8111	○ 下条寛人	ウイルス学 癌学

研究機関	同住所・電話	氏名	専門分野
“ 癌細胞学研究部 “ “ “ 癌体質学研究部 “ 癌生物学研究部	“ (内線259) “ (“) “ (内線309) “ (内線406)	野 瀬 清 安 本 茂 山 下 達 雄 佐 藤 茂 秋	生化学 組織培養 農芸化学 腫瘍学
協和醸酵工業株式会社 富士工場研究室	411: 静岡県駿東郡 長泉町下土狩1188 三島(0559)86-7600 (内線284)	北 浦 皓 三	癌化学療法
新潟大学理学部 生物学教室	950-21: 新潟市五十嵐 二の町8050 新潟(0252)61-6175 (直通)	関 谷 国 男	細胞遺伝学 発生遺伝学
金沢大学薬学部 放射線薬品化学教室	920: 金沢市宝町15-1 金沢(0762)62-8151 (内線441-2)	鈴 木 文 男	放射線細胞生物学
愛知県がんセンター 研究所 生物学部	464: 名古屋市千種区 田代町鹿子殿 名古屋(052)762-6111 (内線717)	○ 田 中 恭 子 江 村 牧 人 内 海 和 彦	細胞遺伝学 細胞生物学 動物細胞学
京都大学結核胸部疾患 研究所 細菌血清部	606: 京都市左京区 聖護院川原町 京都(075)771-8111	尾 里 啓 子	発生生物学
鳥取大学医学部 病理第一教室	683: 鳥取県米子市 西町86 鳥取(08592)3-1111	小 林 常 雄	病理学 細胞培養

光 47年度 賛助会 員入会者

和光純薬工業株式会社	550: 大阪市北区木幡町 66-1 高橋ビル南館 (06) 364-1651	試薬開発課
極東製薬工業株式会社	103: 東京都中央区日本橋本町 3-9 (03) 270-1641	柳 田 登
太陽興業株式会社	116: 東京都荒川区西日暮里 6-51-5 (03) 893-2741	泉 慶 治
第一化学薬品株式会社	103: 東京都中央区日本橋 江戸橋3-1 新口会館ビル	販売部試薬課 佐々木 邦 郎

光 幹事交代

昭和46年度選出された西部地区幹事 難波正義氏は本年2月カルフォルニア、スタンフォード大学に留学されました。したがって昭和46年度西部地区で次点であった古山順一氏が交代して役につくことになりました。

光 幹事改選報告

昭和47年度の幹事改選は土井田幹事のお世話で行われ次の如く決りました。

東 部 地 区		西 部 地 区	
黒 木 登 志 夫 氏		五 島 喜 代 太 氏	
乾 直 道 氏		加 納 永 一 氏	
(次点) 松 谷 豊 氏		(次点) 萩 原 淳 嘉 氏	

光 会員住所変更

○ 高野 宏 一 氏 鎌倉市梶原200
日本ロシユリサーチセンター微生物部
0467 (44) 6611

- 松村 外志張氏 東京大学医科学研究所
癌細胞研究部
03 (443) 8111 (内259)
- 難波 正義氏 Department of Microbiology
(Namba, Masayoshi) Stanford University
Stanford, California 94305
U. S. A
- 五島 喜代太氏 大阪市東淀川区十三西之町
武田薬品中央研究所生物研究部
06 (301) 1231 (内2693)
- 松岡 巖氏 福山市宝町5-32
松岡産婦人科病院
福山 (23) 0619
- 葛西 四朗氏 福島県郡山市富田町字三角堂
東北歯科大学生理学教室
0249 (32) 8931

★ 電話番号変更

- 京都大学医学部および理学部 075 (751) 2111
- 菅原 努氏 内線 4410
- 土井田 幸郎氏 " 4412
- 岡本 道雄氏 " 4331
- 萩原 淳嘉氏 " 4080
- 京都大学ウイルス研究所 075 (751) 3111
- 井上 幸重氏 内線 4025

★ 昭和46年度決算報告

前年度より繰越金	159,609 円	円
46年度総収入	824,930	
46年度総支出		756,607
次年度への繰越金	.	227,932
計	984,539	984,539

収 入		支 出	
正 会 員 会 費	214,378	各 種 刊 行 費	
賛 助 会 員 会 費	355,000	ビブリオグラフィ	540,600
文 部 省 刊 行 補 助 金	250,000	会 員 通 信 (Ⅱ 14,15)	19,680
銀 行 利 息	5,552	郵 送 費	59,245
		幹 事 会 旅 費	39,360
		研 究 会 補 助 金	70,000
		事 務 費	
		印 刷 費	8,315
		切 手 他	14,052
		振 替	5,355
小 計	824,930	小 計	756,607
45年度からの繰越	159,609	47年度への繰越	227,932
総 計	984,539	総 計	984,539

年 度	44	45	46
収 入			
前年度より繰越金	115,851	77,858	159,609
正 会 員 費	128,500	169,896	214,378
賛 助 会 員 会 費	270,000	400,000	355,000
文 部 省 補 助 金	200,000	240,000	250,000
そ の 他	6,972	1,875	5,552
計	721,323	889,629	984,539

年 度	4 4	4 5	4 6
支 出			
Annual			
Bibliography	4 6 7,6 0 0	5 5 6,6 0 0	5 4 0,6 0 0
会 員 通 信	4,9 9 5	6,9 6 0	1 9,6 8 0
会 員 名 簿	5 1,3 8 0	6 5,7 6 0	0
郵 送 費	5 3,8 3 5	4 7,1 2 0	5 9,2 4 5
幹 事 選 挙 費	5,6 5 5	6,8 6 5	0
事 務 費	2 0,0 0 0	1 1,7 1 5	2 7,7 2 2
幹 事 会 費	0	0	3 9,3 6 0
研 究 会 補 助 金	0	3 5,0 0 0	7 0,0 0 0
そ の 他	4 0,0 0 0	0	0
次 年 度 へ の 繰 越 金	7 7,8 5 8	1 5 9,6 0 9	2 2 7,9 3 2
計	7 2 1,3 2 3	8 8 9,6 2 9	9 8 4,5 3 9

㊦ 組織培養学会第34回研究会のお知らせ

今秋の研究会を下記のように千葉市の放医研を会場として開催する予定です。

いつものように一般演題を多数歓迎いたしますが、他にシンポジウムも行なうつもりです。シンポジウムは"Frontiers in Tissue Culture"という仮題の下に準備をすゝめていますが、これは培養法が医学・生物学において果して来た役割の重要性を認識し、その将来をも展望したいという主旨であります。

どうか皆様多数の参加と活潑な討論をお願いします。尚、抄録原稿×切は9月20日の予定です。

記

日 時 昭和47年10月30日(月)・10月31日(火)

場 所 放射線医学総合研究所講堂

連絡先 280 千葉市穴川4-9-1

放射線医学総合研究所

生理病理部 寺島 東洋三

Tel 0472-51-2111

内線 216

以 上 世話人 寺島 東洋三